令和元年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市コミュニティセンター
施設所管課	市民生活部 市民協働課 (内線 172)
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (1年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	2	2
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	2	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3	
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3	
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3	
	4 指定事業・自主事業				
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3	
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか	4	4
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	79 / 100	76 / 100

総括	指定管理者の自己評価	<p>本年度の利用件数及び利用代金については、昨年度で利用件数が224件減の利用代金89,840円減という結果になりました。利用人数については、3,966人増となりました。主な要因は本年度は、選挙が5つあったこともあり、公共利用での利用人数が昨年比6,771人増となったため、新型コロナウイルスの影響による休館の影響を受けず利用人数増という結果になりました。</p> <p>自主事業については、今年度もお客さまに大変ご好評いただいている『健康麻雀教室』『若返り歌声教室』などを中心に文化系教室を継続して実施したほか、運動系事業として昨年に引き続き『リフレッシュケア健康体操』を実施いたしました。また、新たに、『夜のフラダンス教室』『タイ式ヨガ教室』も新たに開催いたしました。他にも、本年からの新たな事業として施設を使った芸術文化事業『コミュニティセンターチャリティ寄席』を開催いたしました。結果、過去平成27年～本年度までの5ヵ年で過去最高の参加者数、収支を達成いたしました。次年度も、幸手市における地域コミュニティの中心として市民の皆様の福祉健康に寄与してまいります。一方計画していた研修・訓練が一部実施できませんでした。訓練計画や研修計画の確実な履行については次年度の課題としていきます。</p>
	施設所管課の評価	<p>良好に施設の管理運営を行っている。特に新たな自主事業を実施しており、運営基本方針にある利用者の満足度の向上を図っている。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応を適正に実施していたため、大きな混乱はなかった。修繕に関する申請が一部なされなかった。また、訓練の一部が実施されなかったため、利用者の安全確保のため令和元年度に実施できなかった訓練等は今後優先的に実施してもらいたい。今後も更なる利便性の向上のためにご尽力いただきたい。</p>

総合評価	区分	B
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)